



SymBio Pharmaceuticals Limited

San-Ei Building, 5-23-7 Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0004, Japan  
Tel: +81-3-5472-1125 Fax: +81-3-5472-3054 <http://www.symbiosis.co.jp/>

各 位

2006年7月31日  
シンバイオ製薬株式会社  
代表取締役社長 吉田文紀

シンバイオ製薬が開発品第1号「ベンダムスチン」(SyB L-0501)の臨床試験を開始

当社は昨年12月にAstellas Pharma GmbH (アステラス製薬株式会社(本社:東京)のドイツ子会社、本社:ドイツ・ミュンヘン、以下「アステラス ファーマ GmbH」)から導入した抗癌剤 Bendamustine Hydrochloride(日本での開発記号 SyB L-0501。以下「ベンダムスチン」)の臨床試験を開始するに当たり、医薬品医療機器総合機構に対し、第I相臨床試験の治験計画届書を提出し、このほど30日調査が終了しました。

現在、シンバイオ製薬は業容のさらなる拡大をはかるため資金調達を行っており、今回の資金調達であるシリーズB(8月末クローズの予定)では20億円を目標に資金調達を行っております。昨年のシリーズAの出資企業・ベンチャーファンドを中心にかなりの資金が集まってきており、ベンチャーキャピタル最大手のJAFCOから10億円を既に出資いただきました。この資金は、臨床試験の費用、現在交渉中の開発品目第2号、第3号の導入費用に充てられる予定です。

「ベンダムスチン」はドイツにおいて既に非ホジキンリンパ腫及び多発性骨髄腫の治療薬としてRibomustin®の商標で長年にわたり使われております。北米においてはバイオベンチャーのCephalon, Inc.が、アステラス ファーマ GmbHからライセンス供与を受けて、リツキシマブ無効・再発の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫を対象とした開発を行っており、現在第III相臨床試験段階です。また、米国において、現在、第一選択薬のリツキシマブとの併用試験も進行中で、6月開催されたASCO(米国臨床腫瘍学会)では第II相試験の結果が発表され、高い有効率が示されております。

シンバイオ製薬は2005年3月25日に設立されて以来、80社を超すバイオベンチャー・製薬企業と導入交渉を進めてきましたが、その中で65品目についてCDAを結び、さらに8品目に絞り現在交渉中です。シンバイオ製薬は、今後も、特に 癌、血液、自己免疫疾患を重点領域として、患者数が少ない疾患のための治療薬の開発において、患者さんの声を真摯に受け止め、満たされない医療ニーズに応えることを事業目的に展開していきます。

以上

[会社概要]

シンバイオ製薬株式会社

シンバイオ製薬株式会社は、前アムジェン社本社副社長でアムジェン株式会社を創業した前社長の吉田文紀が 2005 年 3 月に設立した医薬品企業です。

経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としております。

[本件に関するお問い合わせ先]

シンバイオ製薬株式会社

取締役管理本部長 工藤 郁哉

Tel: +81 (0) 3 5472 1125

E-mail: [ikudo@symbiosis.co.jp](mailto:ikudo@symbiosis.co.jp)

URL: <http://www.symbiosis.co.jp>